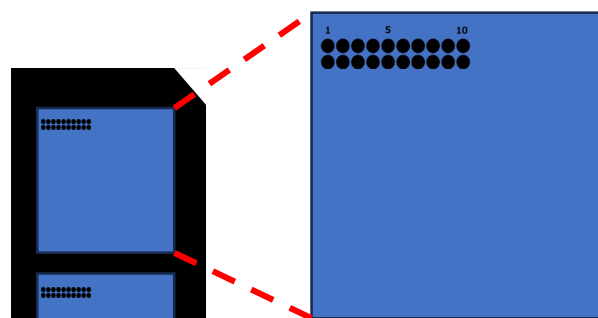


歯周病簡易検査用チップ仕様書・取扱説明書

P/N PTC-PDS-01 (Periodontal Disease, Saliva)

搭載ペプチド	α -Helical ペプチド(Seq. α -HaTAMRA-G-XXXX-GC-NH ₂) 20種を固定化
基板	3ブロックデザインの表面マレイミド化基板
固定化方式	基板表面ポリメチレンリンカーとマレイミド基を介し、ペプチド側システイン残基のSH基との共有結合で固定化
スポット径	ca 160 μ m
ピッチ	ca 450 μ m
アレイ方式	マイクロアレイヤーによるスポットティングで1スポット当たり約0.14 pmolのペプチドをアレイ化
保管方法	製品納品時に付属の専用のケースに入れ、遮光、4℃で保管



アレイマップ (ロケーション)
と搭載ペプチドリスト

取り扱い法
動画参照



Spot	No.	Seq. (XXXX)
1	202	FQQ FFK FFQ QFF KF
2	203	LQQ FFK FLQ QFF KF
3	204	LQQ LFK FLQ QLF KF
4	205	LQQ LLK FLQ QLL KF
5	206	FKK FFS FFK KFF SF
6	213	LSS LLK FLK KLL SF
7	214	FSS FFK FFS SFF KF
8	215	LSS FFK FLS SFF KF
9	237	LQQ LLR FLR RLL QF
10	279	LSS LLK VLK KLL SV
11	287	LEE LLR VLE ELL RV
12	319	AQQ AAK IAK KAA QI
13	332	AEE AIR IAE EAI RI
14	352	AKK FFR FAK KFF RF
15	354	AKK AAR FAK KAA RF
16	380	AKK AFS FAK KAF SF
17	400	AQQ FFR FAR RFF QF
18	449	ARR AVQ VAR RAV QV
19	452	AQQ AAR VAR RAA QV
20	498	IQQ IFR FIR RIF QF

基板使用手順書

1. 事前準備

- 環境の確保: 基板を水平で、チリやホコリのない清潔な場所に置いてください。
- I₀データの取得: 先にPBSを用いてI₀データを取得してから、検体データの取得を行ってください。

2. 検体の滴下と静置 (3ブロック分) ※1ブロックごとに、以下の手順①・②を順番に行ってください。

- 検体の滴下** 1ブロックにつき 10 μ L のPBS (I₀)、または検体(I₁)を正確に滴下します。
- カバーガラスの設置** すぐにカバーガラスを静かにかけ、滴下した検体をブロック全体に均一に行き渡らせませす。
- 残りブロックへの操作** 同様の操作 (①・②) を、残り2つのブロックに対しても手早く行ってください。

3. 反応 (インキュベーション) および測定

- 密閉保管** 操作が完了した基板を速やかに「基板反応容器」に収め、キャップをしっかりと閉めて密閉します。
- 静置 (インキュベーション)** 室温・暗所にて、15~30分間放置します。
- 蛍光測定** 静置後、基板を取り出し、蛍光検出装置を用いて測定を行います。

正確な測定のための要素、注意点

- 気泡の混入防止:** カバーガラスをかける際は、気泡が入らないよう端から静かに傾けるようにして乗せてください。気泡が入ると、蛍光検出時のノイズやシグナル欠損の原因になります。
- 乾燥注意:** 検体を滴下してからカバーガラスをかけるまでの時間は、可能な限り短くしてください。
- 遮光の徹底:** 反応中の「暗所」での保管は、蛍光物質の退色を防ぐために重要です。アルミホイルで容器を包む、または遮光ボックス内での保管をおすすめします。

関連製品
蛍光検出装置
PepTenCam
CP06J

関連研究用検査チップシリーズ:

胃の前癌病変検査用チップ P/N PTC-GCM-01
脳脊髄液検査用チップ(多発性硬化症ならびに関連疾患検査用) P/N PTC-NDS-01 近日販売予定

